

いっしょに
石岡をよくして
いきましょう。

たかす 敬

プロフィール ●1950年石岡市荒金生まれ●府中小中・県立石岡一高・千葉大学園芸学部卒●石岡一高農業・造園科で38年間の教師生活●茨城県高等学校教職員組合副委員長など歴任●現在、新石岡市を考える市民の会事務局長、石岡平和の会会長、重症筋無力症友の会会員●趣味は絵画、山登り（筑波山2500回超登頂）、旅行（お寺巡り）

いしおか新聞 2026年4月号外 日本共産党は次期市議選の予定候補者を発表しました。
発行：日本共産党石岡市委員会 石岡市総社2-1-34 Tel 090-2236-5395 Fax 0299-38-9013
E-mail : taka451kei@yahoo.co.jp

市民のための石岡市に!

皆さん、いかがお過ごしでしょうか。
いま、食料品やガソリン、電気代などあらゆるものが値上がりし、市民生活を苦しめています。
トランプ政権が始めた無法なイラン攻撃が物価高をさらに推し進めています。

私はこれまで38年間、石岡一高で農業・造園を教えてきました。命を育む食料の大切さと、平和の尊さを生徒たちに伝えてきました。その思いはますます強まっています。

今、市政が混乱していますが、市民と議員が力を合わせて行政を動かし、この石岡をよくしていきましょう。戦争の不安がない平和な市政を築いていきます。



たかすさんに期待します!

教師として長年多くの人を支えてこられた、まさに人徳の人。誰からも愛されるほどの温かさを持っています。地域に新しい風を吹き込むはずです。



中村英之さん
(石岡一高卒業生)
(柏原在住)

地元石岡のまちを深く愛し、住民の困り事を何とかしようと頭と身体をフル回転させている人物、それが高栖先生です。利益があるかないかではなく、正しいか正しくないかで物事を判断する、信頼度100%で託せられる方です。



阿部まり子さん
(石岡一高元教員/大増)

何を聞いてもすぐに答えが返ってくる、とんでもない情報量と知識・経験の持ち主。なのに少しもエラぶらない。気さくで誰からも信頼されるすごい人です。



増山みゆきさん
(G・デザイナー/貝地)

高栖君とは高校の同級生。何事にも積極的で、人には優しく、今の多様な地域や農業問題を再建する知恵と力があると思います。みんなで応援しますよ!



飯田忠夫さん
(常陸野農民連会長)
(石川在住)



教育・子育て



- 子どもが多い世帯ほど負担が重くなる国保税。県内では取手市や鹿嶋市が子どもの国保税をゼロにしました。県の補助も活用して石岡でもゼロに。
- 石岡市の通学バス料金の一部負担をなくします。
- 公立保育所・児童館の充実
- いじめと自殺を出さないゆとりある、行き届いた教育を
- 特別支援教室の充実

老後に安心を



- 乗合タクシーの土日祝日運行を。
- 免許返納者への優遇制度
- 国保税・介護保険料の引き下げ
- 補聴器購入補助の充実

まちづくり



- 産業廃棄物などの不法投棄を防いで里山の自然を守る
- 「歴史の里」にふさわしい文化遺産の保護と活用、「ふるさと歴史館」の充実
- 防災倉庫の充実
- 私たちの生活に不安のある東海第二原発の再稼働には反対

中小企業・農業に希望を

- 農産物の価格保障と所得補償
- 学校給食での地元農産物の活用促進
- 生態系をいかした持続可能な農業の推進
- 住宅リフォーム補助制度の充実



実現しました!

2026年度から市内の小中学校給食が無料になります!*

実現しました!

2026年度から補聴器購入補助がスタートしました!*

*前市議の小松豊正議員がはたらきかけ実現した施策

複合文化施設

市民の声を反映し早急に建設を

市民が気軽に使える会議室がなく、整備が待たれています。市民の意見をしっかり聞いてムダをなくし、公設公営方式でのコンパクトな市民会館建設を求めます。

みなさんのご支援を

たかす敬さんをお願いします

4期15年間、皆さんの温かいご支援に支えられ、議員活動を続けることができました。あらためて感謝申し上げます。

私は今限りで議員を引退し、新人のたかす敬さんに市政刷新の仕事を託します。

たかすさんはとにかく行動派です。早朝登山や本業の梨づくり、地元市民の生活相談活動などまめに働いています。石岡一高の教え子からも頼られ、読書家で自宅の本棚はいっぱいです。たかすさんが議員になったら市民にとってさぞかし心強いことでしょう。

私に倍するご支援を、たかす敬さんにお願いいたします。

前・市議会議員
小松とよまさ



こんなことしています

●市長面談で市民の要望などを訴え行政にはたらきかけをしています。



●2015年から小中高生対象に勉強を教える「無料塾」を行っています。



●毎月石岡駅前などでスタンディング。下校時の高校生などにも平和や社会問題を提起、対話の時間を大切にしています。



たかす敬のあゆみ

石岡一高で教師生活38年

大学を卒業して38年間、石岡一高の農業・造園科で教えました。「当時はやんちゃな子が多かったけど、どんな子でも大事にしたかった」とたかすさん。造園技能検定委員も長くつとめました。



医療と健康の大切さを実感

27才で「筋無力症」を患う。医療の進歩もあり34才の時に胸腺摘出手術を受け健康回復。50代には体力の衰えを感じ、水中ウォーキングや山登りを再開し、百名山登山を達成。早朝の筑波山登山は2,500回を超える。山から元気をもらっています。



市民の立場で活動

市長に対しごみ減量化やコロナ対策、また東海第二原発の再稼働に反対するようはたらきかけるなど、市民運動にも積極的に取り組んでいます。毎年「平和パネル展」開催にも尽力、「市民の憩いの場」の「白雲荘」存続を求め4千人の署名集めもしました。不法投棄問題やゴミの減量化にも力を入れています。



本業はナシ農家 有機にこだわる

約200本の梨の木を育てています。「くん炭」や米ぬかも使い有機肥料にこだわる徹底ぶり。「幸水」「豊水」をはじめ8品種を栽培。「手間がかかるけどお客さんに喜ばれるのが何より」と話します。

